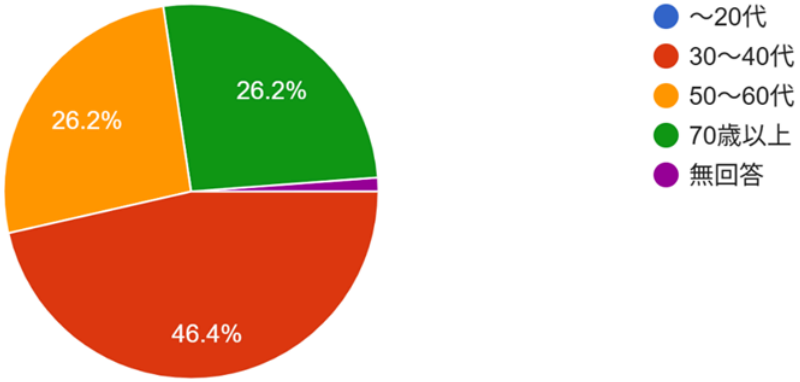
Ⅰ．あなたご自身についておたずねします

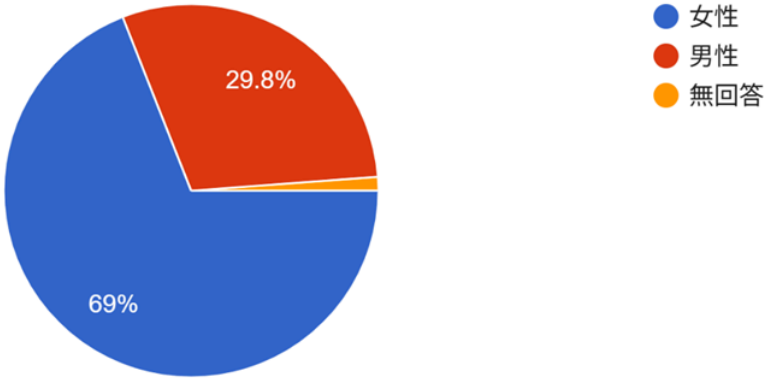
問１　あなたの年齢

84 件の回答



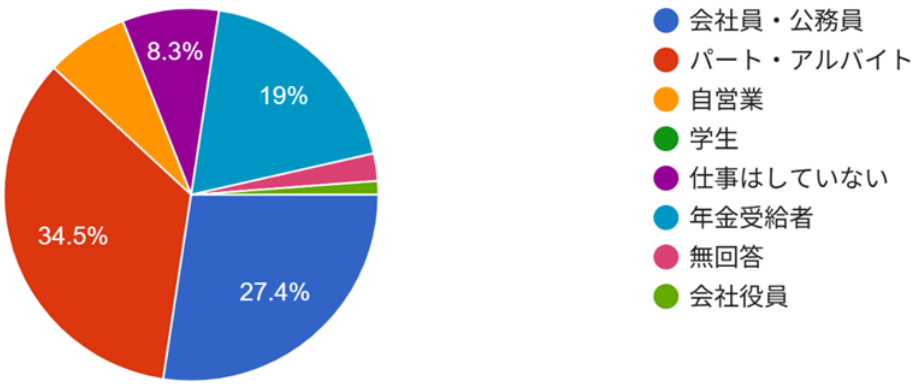
問２　あなたの性別

84 件の回答



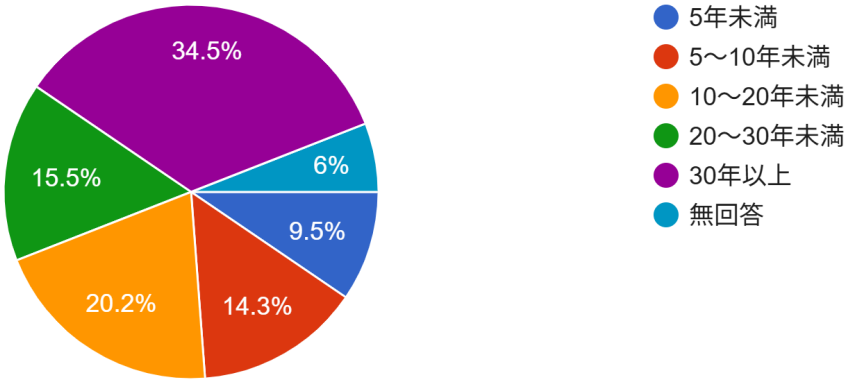
問３　あなたの職業

84 件の回答



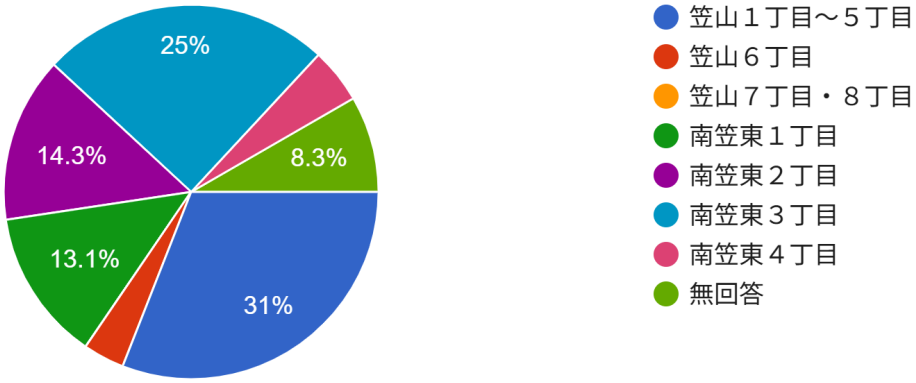
問４　南笠東学区に住んで何年目ですか

84 件の回答



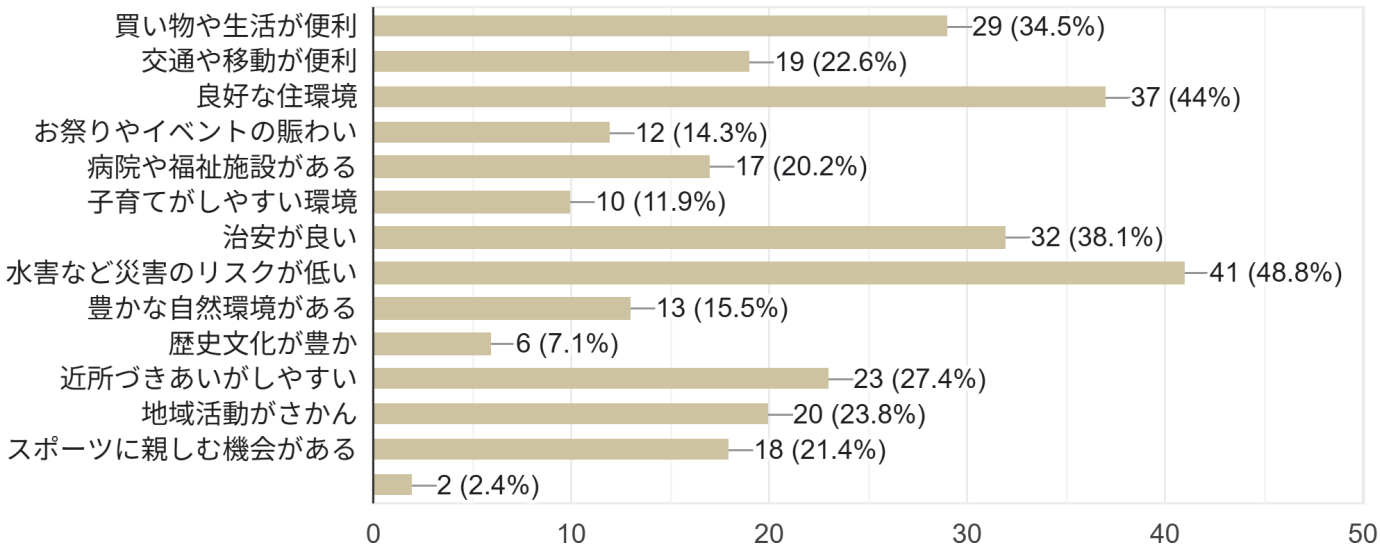
問５　お住まいの地域

84 件の回答



問６　あなたが南笠東学区で気に入っているものや、誇ることができるものは何ですか

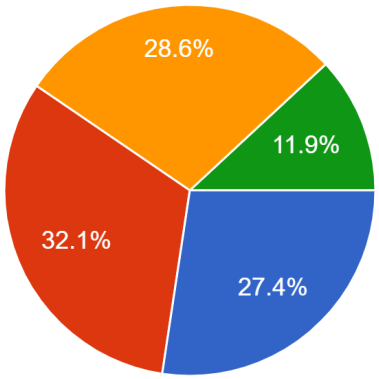
84 件の回答



Ⅱ．まちづくり協議会についておたずねします

問７　南笠東学区まちづくり協議会を知っていますか

84 件の回答



- よく知っている （協議会の役員経験がある、委員メンバーとして関わりがある等）
- 少し知っている （催しに参加したことがある・会議室などセンター施設を利用した等）
- あまり知らない （まちづくりセンターの場所、活動内容を少し知っている程度）
- 知らなかった

Ⅲ．協議会が実施する事業について

協議会が実施する主な事業のうち「知っているもの」「大切に思うもの」について下の表より選択

南笠東学区まちづくり協議会　主な事業

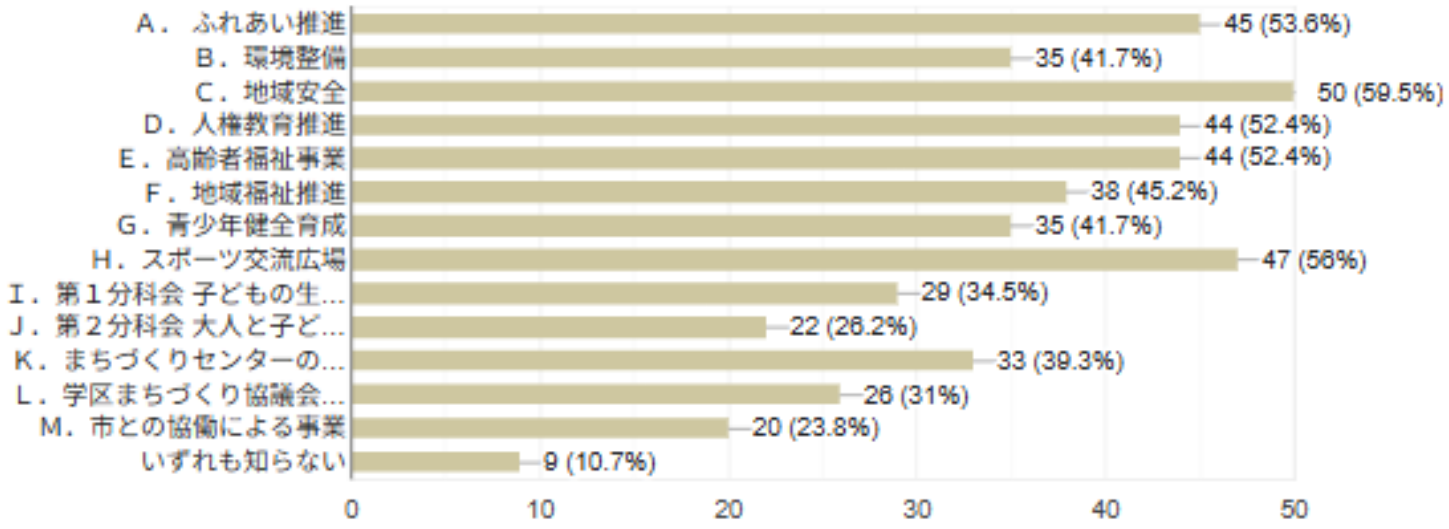
担当部局	事業	事業内容
生活関連事業	A．ふれあい推進	○ふれａｉフェス南笠東
	B．環境整備	○花いっぱい運動 ○河川公園の整備（地域ボランティア「なかま」）
	C．地域安全	○防犯灯・防犯カメラの設置・調整 ○スクールガード支援 ○子どもの安全を守る地域協議会
	D．人権教育推進	○第３講座・第４講座の開催 ○町内学習懇談会 ○管外研修 ○実践発表のつどい
健康福祉事業	E．高齢者福祉事業	○学区敬老会事業 ○送迎サポート事業 ○ふれあいサロン ○配食サービス ○バースデイ訪問
	F．地域福祉推進	○福祉懇談会（医療福祉を考える会議） ○健幸なまちプロジェクト（医療福祉を考える会議） ○子育てサロン「あそぼ」 ○赤ちゃん訪問 ○赤十字奉仕団活動 ○びわこ学園交流
青少年育成事業	G．青少年健全育成	○すこやかセミナー ○めだか学級 ○愛の声かけ・あいさつ運動
地域スポーツ事業	H．スポーツ交流広場	○ふれあい健幸ウォーキング ○グラウンドゴルフ大会 ○運動会
地域協働合校推進事業	Ⅰ．第１分科会 子どもの生きる力を育む事業	○わんぱくプラザ ○夏休み子ども体験広場
	J．第２分科会 大人と子どもの関わり事業	○さつまいもの苗植え ○昔遊び・狼川体験・ミシンのお手伝 ○まちたんけん・福祉活動体験 ○生き方プロジェクト
まちづくり事務局	K．まちづくりセンターの管理運営	○施設の維持管理・貸館業務 ○地域のパネル展 ○講座の開催 ○デジタルサイネージ
	L．学区まちづくり協議会事務局	○まちづくり協議会の事務局業務 ○HPによる情報発信 ○地域パートナー情報南笠東の発行
	M．市との協働による事業	○市長とまちづくりトーク ○学区まちづくり計画策定 ○地域防災計画策定

問８-①

グラフをコピー

協議会が行っている以下の事業で**「知っている」**ものを選択してください（いくつでも）
※「事業内容」のなかで知っている取組みが一つでもあるもの**すべてに**☑してください

84 件の回答

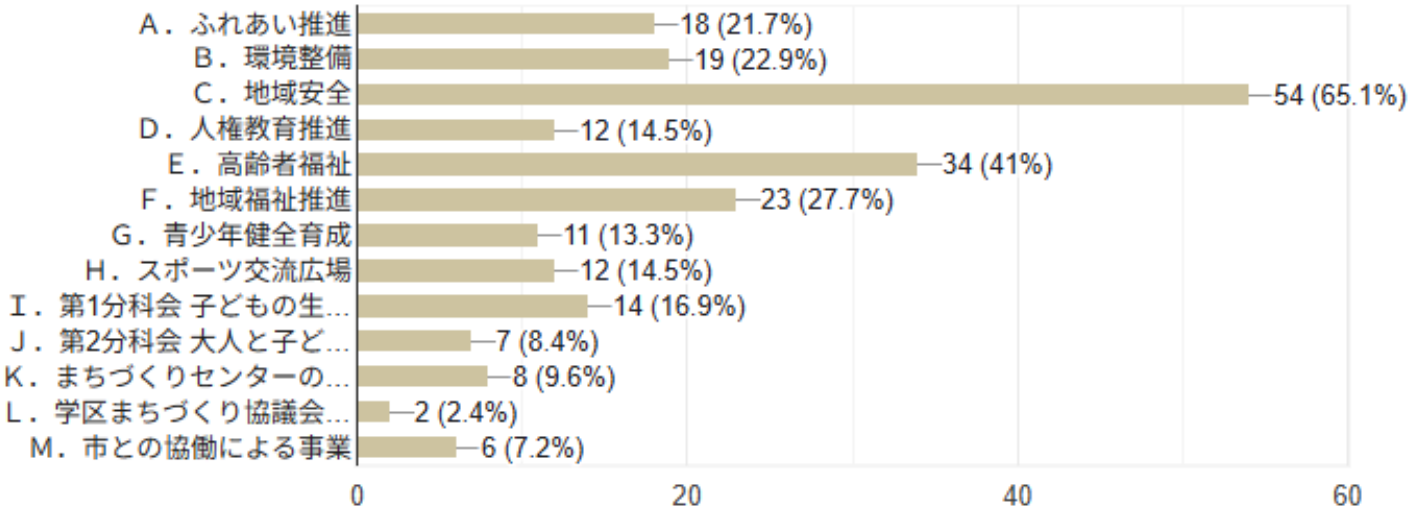


問８-②

グラフをコピー

協議会の事業のうち、特に**「大切と思う」事業を【３つまで】**選択してください

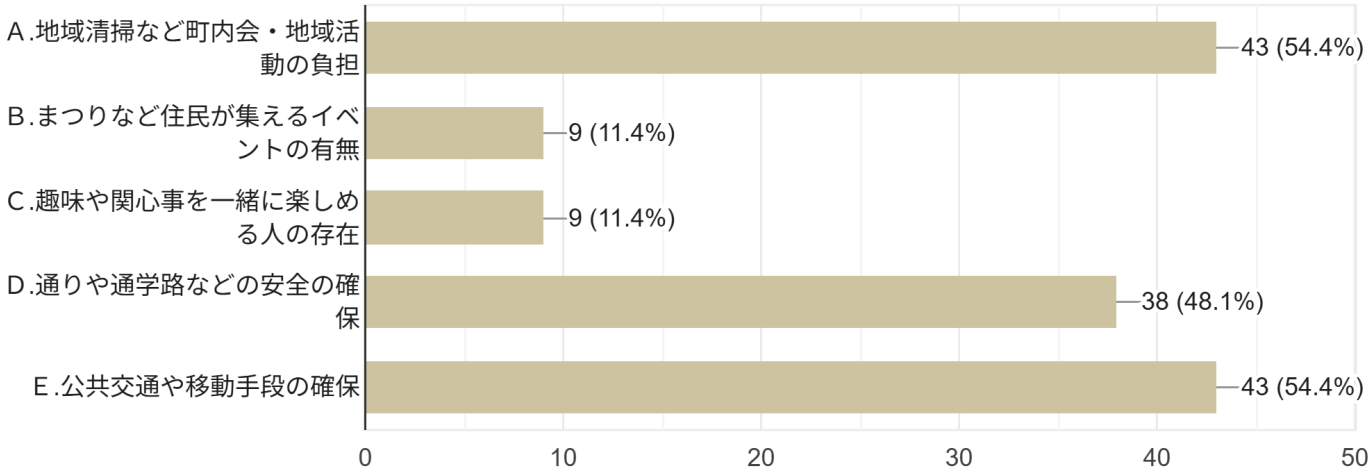
83 件の回答



Ⅳ. 南笠東学区で暮らす上で「気になる」「不安に感じる」ことについて

(1)地域・安全・コミュニティ　【２つまで】選択☑をつけてください

79 件の回答



(1)で特に「気になる」「不安」なこと（48件回答/要旨）

■Ａを選択
- 町内会役員や組長の担い手が高齢化し、特定の人に負担が集中している
- 共働き世帯が多く、地域活動や会合への参加が大きな負担になっている
- 清掃活動（草刈り等）が高齢者にとって身体的にきつく、熱中症など健康面が心配
- 市の業務を町内会が担うことへの不満や疑問がある
- 町内会に加入しない世帯が増え、不公平感や存続への不安がある
- 役員になると集まりが多く、負担感から脱会につながっているケースがある

■Ｂを選択
- 高齢化や子どもの減少により、町内会行事や地域イベントが減少している
- 行事そのものが続けられなくなるのではという将来への不安がある
- 地域の活気が失われ、住民同士が顔を合わせる機会が少なくなっている

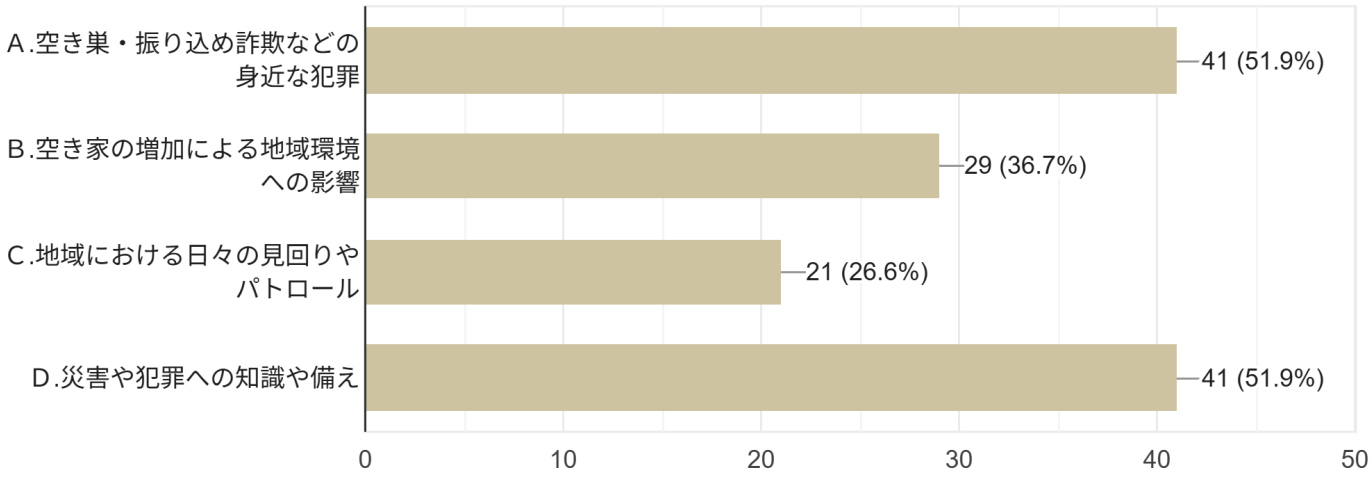
■Ｃを選択
- 地域内の交流が少なく、誰と何ができるのか分からない
- 情報が住民に十分伝わらず、活動や集まりの存在自体を知らない
- 世代間（子育て世代・高齢世代など）で価値観や生活スタイルにギャップがある
- 若い世代の意見や新しい取り組みが受け入れられにくい雰囲気がある

■Ｄを選択
- 通学路や生活道路が狭く、車の交通量が多いため危険
- 朝夕の通勤・通学時間帯に、歩行者や自転車が危険な思いをしている
- 抜け道として利用され、スピードを出す車が多い
- 大学生の自転車のすり抜けなど、交通事故への不安がある
- 歩道が狭い・舗装が悪いなど、ベビーカーや高齢者が移動しづらい環境がある
- 子どもの見守り活動を支えるボランティアの高齢化が進んでいる

■Ｅを選択
- まめバスの今後の運行継続や本数の少なさに不安がある
- 高齢化が進む中、車が運転できなくなった後の移動手段が不足している
- 病院やスーパー、南草津駅などへの交通手段が乏しい
- タクシー以外の安価で使いやすい移動手段はないか

(2)防犯・防災　【２つまで】選択☑をつけてください

79 件の回答



(3)で特に「気になる」「不安」なこと（21件回答/要旨）

■Ａを選択
- 地域の高齢化への不安
- 地域の交流が少なく、誰が住んでいるか把握しづらい
- 町内会への非加入により、地域の目が行き届かない状態
- 見守りや地域のつながりが弱くなっていることへの懸念

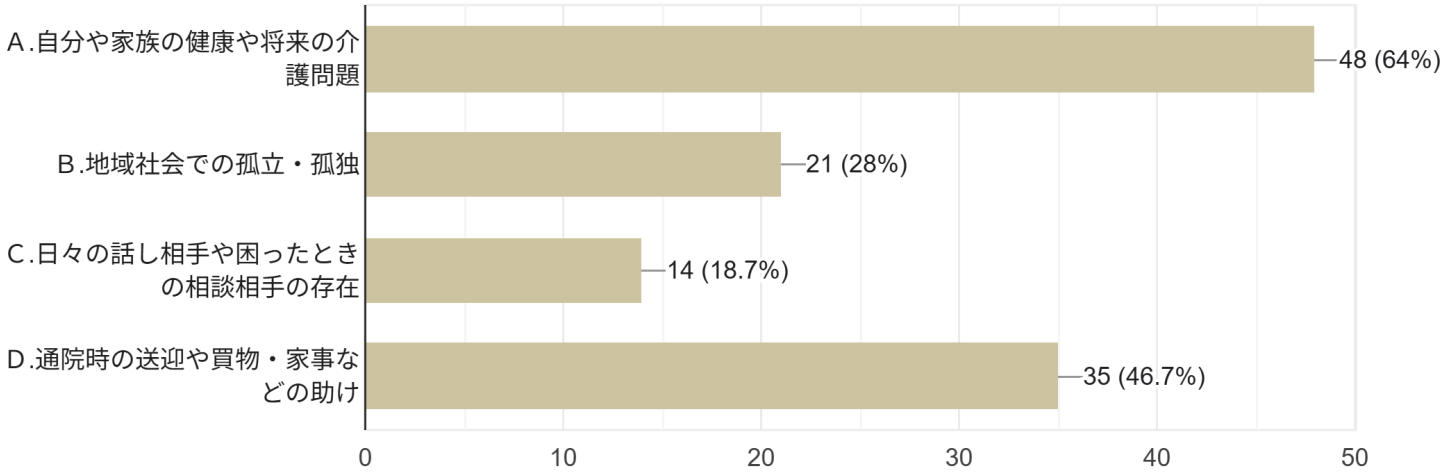
■Ｂを選択
- 高齢化などによる住み続けられなくなる世帯が増えることへの不安
- 地域の活気不足への不安、また地域コミュニティが希薄になることへの懸念

■Ｃを選択
- 町内会役員・見守りの担い手が高齢化している
- 子どもたちの安全確保を担うボランティアの高齢化
- 特定の人や、若い世代に負担が集中していく懸念
- 共働きが多く、地域の見回りや活動に参加しにくい
- 地域活動の負担が重く、結果として見回り・見守りが続けられない

■Ｄを選択
- 通学路や生活道路が狭く、抜け道利用やスピードを出す車が多いため事故の危険が高い
- 地域の取り組みだけでは限界がある
- 防犯・防災に関する情報が住民に十分届いていない
- 地域の交流不足により、非常時の連絡・助け合いが不安
- 災害時の移動・避難が心配

(3)健康・福祉　【２つまで】選択☑をつけてください

75 件の回答



(3)で特に「気になる」「不安」なこと（20件回答/要旨）

■Aを選択
- 高齢化等により、無理をして地域活動や清掃を行っている
- 暑い時期の草刈り作業について、熱中症など健康面の不安がある
- 介護や支援が必要になる人が増加していくことが懸念される
- 高齢化により、これまで地域を支えてきた人が動けなくなってきている状況
- 免許返納後の生活（通院・日常生活）が成り立つのか心配

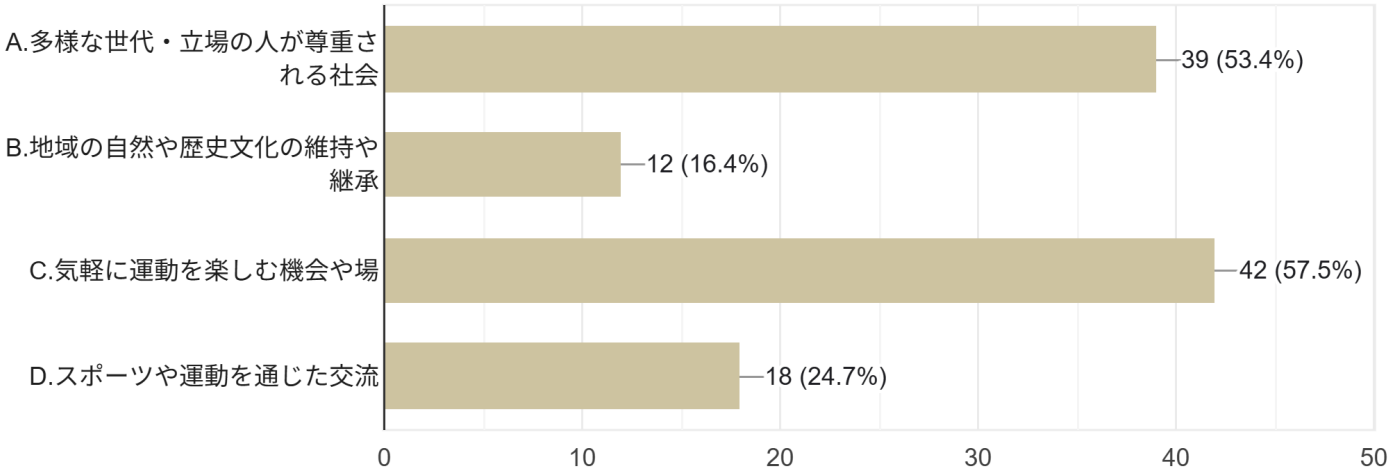
■Bを選択
- 地域の交流がなく、住民同士のつながりが希薄なっていくのでは
- 近所にどんな人が住んでいるのか分からない、情報が入ってこない
- 町内会に加入しない人が増え、関係性が希薄になっている
- 世代間（若い世代と高齢世代）の価値観の違いがあり、理解が進みにくい
- 若い世代の意見が通りにくく、地域活動から距離ができている

■Cを選択
- 地域内で気軽に相談できる相手がいるのか分からない
- 地域の集まりや行事が減り、顔を合わせる機会が少なくなっている
- 町内会役員や限られた人に相談や対応が集中している
- 役員になると集まりが多く負担が重いため、相談役になり手が減っている
- 共働き世帯が多く、日常的に地域で関係づくりをする時間が取りにくい

■Dを選択
- 車が必要な地域であり、運転できなくなった後の生活が不安
- まめバスはあるが、本数が少なく通院や買い物に使いにくい
- 免許返納後、スーパーや病院へ行く交通手段がない
- 南草津駅や医療機関への移動手段が不足している
- タクシー以外で、安く移動できる手段を確保してほしい
- 高齢化が進む中で、日常生活の支え（移動・外出）が不足する懸念

(4)人権・文化・スポーツ　【２つまで】選択☑をつけてください

73 件の回答



(3)で特に「気になる」「不安」なこと（10件回答/要旨）

■Ａを選択
- 地域の高齢化が進み、高齢者が中心となって地域を支えている状況
- 共働き世帯が増えているが、地域活動の仕組みが時代に合っていない
- 子育て世代と孫育て世代で、価値観や生活スタイルの違いがある
- 若い世代の意見が地域で通りにくいという声
- 町内会の役割や負担が特定の世代に偏っている
- 地域活動や役員の負担に対し、不公平感を感じている住民がいる
- 町内会に加入しない人が増え、多様な立場を包摂できていない現状

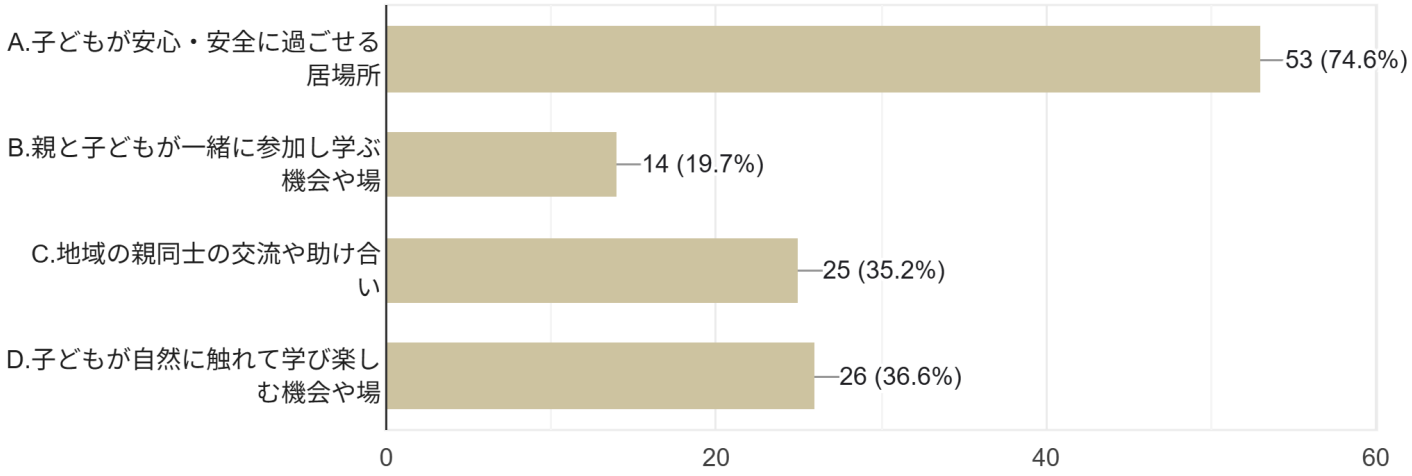
■Ｂを選択
- 町内会の高齢化により、これまで続いてきた行事や活動の継続が難しくなっている
- 地域行事が減少し、昔からの地域の慣習やつながりが薄れてきている
- 担い手不足により、地域としての「当たり前」が守れなくなる不安
- 清掃活動や草刈りなど、地域環境を維持する活動が負担になってきている
- 高齢化により、自然環境や生活環境を維持する力が弱まっている

■Ｃを選択
- 清掃活動や草刈りが、運動・身体活動になっているが高齢者には負担が大きい
- 歩道が狭い、舗装が悪いなど、歩く・外出する環境が整っていない
- ベビーカーで歩きにくく、親子で外出しづらい
- 高齢者が安心して散歩や外出を楽しめる環境に不安がある
- 日常的に身体を動かせる場やきっかけが地域に少ない

■Ｄを選択
- 地域の交流そのものが少なく、人と人が集う機会が減っている
- 行事や集まりが減り、世代を超えて顔を合わせる機会が少ない
- 町内会活動以外に、気軽に参加できる交流の場が見当たらない
- 若い世代と高齢世代が一緒に関われる活動が少ない
- 運動や外出の機会が減ることで、結果的に交流も生まれていない

(5)子ども・子育て　【２つまで】選択☑をつけてください

71 件の回答



(3)で特に「気になる」「不安」なこと（16件回答/要旨）

■Ａを選択
- 抜け道利用や自転車のすり抜けなどにより、子どもが安心して歩けない環境がある
- 通学路と幹線道路が重なっており、事故への不安が強い
- 安全を支える「人の目」が減ってきていることへの懸念

■Ｂを選択
- 地域行事や集まりが減少し、親子で参加できる機会が少なくなっている
- 町内会活動が役員中心で、子育て世代が関わりにくい
- 共働き世帯が多く、時間的に地域活動へ参加しにくい現状
- 時代に合った参加しやすい仕組みを取り入れてほしい

■Ｃを選択
- 近所にどんな人が住んでいるのか分からない
- 町内会に加入しない世帯があり、つながりが弱くなっている

■Ｄを選択
- 清掃活動や草刈りなど、地域の環境を維持する活動が高齢者には負担になっている
- 地域環境を守る活動の担い手不足により、継続が難しくなっている
- 子どもが地域の中で自然と関わる日常機会が少ない

Ⅵ．自由記述 ：あなたのご意見をご自由にお書きください

まちづくりセンターやまちづくり協議会の運営についてのご意見・ご提案など

■応援メッセージ

・高齢の方が中心となって地域活動を支えており、感謝しています
・見守りや町内会活動など、地域のために尽力する方がおり嬉しい
・厳しい状況の中でも、地域を何とか維持しようとしていることが伝わっている
・町内会や地域活動の大切さを理解している地域住民がいる
・まちづくりや地域活動を継続させていきたい

■気がかりなこと（不安・懸念・困りごと）

・地域全体の高齢化が進み、担い手が不足している
・町内会役員や組長のなり手が減り、負担が特定の人に集中している
・共働き世帯が多く、地域活動への参加が難しい
・町内会に加入しない住民が増えている
・役や行事の負担が重く、町内会から離れる人がいる
・若い世代の意見が地域で通りにくい
・地域交流が少なく、情報が入ってこない
・子どもの通学路が狭く、交通量が多く危険
・見守りボランティアが高齢化している
・まめバスが少なく、移動手段への不安が大きい
・免許返納後の通院や買い物が心配

■意見や提案

・市の業務を町内会に任せるのではなく、役割分担を見直してほしい
・町内会加入のメリットや意義を分かりやすくしてほしい
・地域活動の負担を軽減し、参加しやすい形に変えてほしい
・若い世代や共働き世帯も関われる柔軟な仕組みにしてほしい
・見守りや安全対策を、無理のない形で続けられる体制にしてほしい
・通学路や生活道路の安全対策を進めてほしい
・バスの本数を増やすなど、高齢者が使いやすい交通手段を確保してほしい
・交通や防犯について、市としてもっと対応してほしい
・地域内の情報が住民に届く仕組みを整えてほしい.